



新しい時代に

小野町議会議長 村上 昭正

新年明けましておめでと
うございます。

町民の皆さまにおかれま
しては、希望に満ちた輝か
しい新春をお迎えのこと
と、心からお喜び申し上げ
ます。

また日頃より議会活動に
対しまして、暖かいご支援、
ご協力、ご理解を賜り、厚
くお礼申し上げます。

さて昨年を振り返ります
と、未曾有の大震災および
原発事故の影響が色濃く残
る中、台風による伊豆大島
の大雨土砂災害、全国各地
で発生した竜巻の被害、そ
して河川の氾濫など、異常
気象による記録的な自然災
害が数多く発生した年であ
りました。全国各地、いか
なる場所においても、大規

模災害の発生が指摘されて

いる中で、わが町において
も、もう一度原点に立ち返
り町民の皆さまの生命と財
産を守りうるきめ細やかな
防災計画および対策を構築
する時ではないかと考える
ところでもあります。

また今後の行政動向を見
てみますと、まず今年3月
末をもって浮金中学校が閉
校となり、4月から小野中
学校との統合が予定されて
おり、一抹の寂しさと、新
しい時代へ期待が持たれる
ところでもあります。この時
を一つの転機ととらえ子育
てを含めた子どもたちの教
育の在り方など、未来を担
う子どもたちをどのよう
に町全体として育成してい
けば良いのか、町民を上げて

の検討が必要ではないかと
思うところであります。

高齢者福祉および医療面
に關しまして、公立小野
町地方総合病院新築工事が
始まり医療の充実が期待さ
れる一方で、健康づくりも
一つのテーマにしていかな
ければと思います。

いづれにいたしましても、
現在のわが町を取り巻く状
況は長引く不況による経済
の低迷、少子高齢化の進行、
農林業の衰退、人口減少な
ど、克服していかなければ
ならない課題が山積してい
るのも事実であります。

地方分権が進展し、まさ
に地方の時代となりつつあ
る今、地方自治体や議会が
果たす役割は、ますます重
要となつてまいりました。
そうした中、われわれ議会
といたしまして、議会改
革がまず必要であると考え、
議会活動範囲をさらに広げ
るために、本年1月1日か
ら12月31日までの一年間を
会期とする通年議会に移行
したところであります。

また昨年から実施してお
ります議会報告会でありま
すが、昨年の反省も踏まえ
て、より開かれた議会を念
頭に今年も実施してまいり
たいと考えております。町
政を取り巻く状況の変化を
的確にとらえながら町民の
皆さまの期待と信頼に応え
るために、さらに議会改革
を推し進めてまいりる所存で
あります。

そして新しい時代にふさ
わしい活力と魅力にあふれ
た小野町の実現に向けて、
議員一人一人がその責務を
自覚し、議会活動にまい進
してまいりたいと考えてお
ります。

町民の皆さまにおかれま
しても、議会に対しまして、
より一層のご指導、ご鞭撻
を賜りますよう、お願い申
し上げる次第であります。
結びに、新しいこの一年
が町民の皆さまにとりまし
て、素晴らしい年となりま
すようご祈念申し上げ、新
年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

議長 村上 昭正

副議長 久野 峻

議員 佐藤 登

遠藤 英信

水野 正廣

宇佐見留男

籠田 良作

田村 弘文

宗像 芳男

竹川 里志

吉田 康市

会田 明生